

LIBRARY



暑かった9月も終わります。10月の芸発にむけての準備は順調ですか？クラスではフレッシュな教育実習生の先生がたと、会話が弾んだのでは？もうすぐ後期選択実習生もやってきますね。

『いつか、あの博物館で。』 朝比奈あすか 東京書籍



偶然同じ班になった4人の少年少女の中1～中3までを描く。安藤悠真は、運動系の部活で活躍する陽キャの長谷川湊や清水陽菜は苦手。おとなしく穏やかそうな市川咲希には密かに好感を抱いている。この4人でロボット博物館を回ることになったのだが、美しいアンドロイドに気味悪さを感じる湊に対し、思わず「不気味の谷」の話をしてしまう。そして彼が抱いていたクラスメートに対する思い込みは、ふとした会話をきっかけに少しずつ崩れていく。

『わたしは食べるのが下手』 天川栄人 小峰書店 2024



葵は、誰かと一緒にご飯を食べるのが苦痛でしかたない。家では食の細い自分を食い入るように見つめる母の目を感じ、食道がギュッと縮まってしまう。ましてや学校の給食の時間は、どんなに減らしてもらってもいつも食べ終わるのは最後…。それなのに、残食ゼロに学校が取り組むことになり、葵の憂鬱は頂点に。とうとう、口に入れたとたんに猛烈な吐き気に襲われ、保健室に駆け込むと、彼女を介抱してくれたのは、不登校ぎみのクラスメート咲子だった。なんでも美味しく食べられたら、こんな素敵なお話はない。でも世の中には食べることに苦しんでいる人もいます。かつての著者も実は…。

『赤と青とエスキース』 青山美智子著 PHP 文芸文庫



『木曜日にはココアを』は、場所が横に動いていて、『鎌倉うずまき案内所』は、時間が縦に動いていました。今度はモノが斜めに動くような小説を書きませんか？ 青山さんが編集者さんにかけて言葉です。2023年本屋大賞第2位に選ばれたこの作品、文庫で再登場ですが、1枚の絵がメルボルンでジャックによって描かれたのが第1話の「金魚とカワセミ」そこから4つの物語とエピソードが紡がれます。そして意外な顛末が！10月6日には、都立国立国際の図書館で、青山さんの講演会があります。良かったらぜひ

『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ著 作品社



イギリスの支配下にあったインドは、独立後の支配権をめぐってヒンズー教徒とイスラム教徒が激しく争い、1947年8月、インドとパキスタンに分離独立しました。その際、多くの人たちが、自分達が信じる宗教ゆえに国境を超えました。その数は1400万人とも言われ、国境付近では殺戮や暴動が繰り返され100万人もの命が失われました。この物語は、架空の家族ではありますが、著者の父の家族に起こった出来事を下敷きに描かれています。生まれてすぐに母を失った双子のアーミールとニーシャ。12歳になったニーシャは亡き母にむけて毎日、日記を書き続けます。かつて違う宗教を信じる者たちが平和に暮らしていた地域もあったことを思うと、分離・独立だけが、唯一の選択肢なのか…。

『マンガって何？』 京都国際漫画ミュージアム他 青幻舎 2024



今や、日本のマンガは世界中で読まれている…といっても過言ではないし、共通のマンガで海外の人と盛り上げられる時代ですよね。でも、学校の授業で「マンガ」についてきちんと学ぶことは、あまりないかも。この本は、京都国際マンガミュージアムと京都精華大学国際マンガ研究センターが、マンガ研究の第一歩として読んでほしい入門書として出版したものです。巻末には参考文献・WEBサイトも充実。日本のマンガについてちょっと学術的に語れる人になりたかったら、手に取ってみてください。

『仕掛学』 松村真宏著 東洋経済新報社 2016



人の行動を変える奥義は、「ついしたくなる」ように仕向けることだと著者は言う。私たちは人から言われて従うほど従順ではなく、上から目線で指示されると反発たくなる。周りの人がしていないのだから、自分もしなくても変わらないと思うし、できれば楽をしたい。どれも身に覚えのある感情だ。だからこそ、「ついしたくなる」仕掛けが、世の中を変える。問題解決のためにどんな仕掛けができるかをみんなで考えたら、面白いかも！今年実践編も出た！

『涙にも国籍はあるのでしょうか』 三浦英之著 新潮社 2024



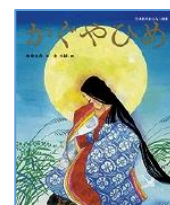
石巻には、東日本大震災で被害のあった学校に、「テイラー文庫」がある。これは、24歳で津波の犠牲となった英語教師テイラーさんの遺志をカタチにしたもの。テイラー文庫の本棚をつくったのは、津波で3人の子どもたちを失った遠藤伸一さん、子どもたちはかつてテイラーさんに英語を習っていた。遠藤さんの妻、綾子さんは長い間失意から立ち直ることができなかった。けれども、異国で娘を失ったテイラーさんの両親が日本とアメリカの架け橋になろうとする姿に、我が子を失った自分だからできることに気づく。丁寧な取材でうかびあがるのは、辛い人生を生きる人々の温かさだった。

『直感こども美術館 すごいぞ！ニッポン美術』 結城昌子著 西村書店



ニッポンには長い歴史がある。実はそれは世界に誇れるくらい長い歴史で、その長い時間に育まれてきたニッポンの心が、たくさんの美術品となって今も、私たちは目にすることができる。それがどれだけ豊かなことなのかを、案外日本人である私たちは自覚していないのかもしれない。子どもたちに、ぜひそのことを気づいてほしいと生まれたのがこの本。いずれホンモノを見に行つてね。巻末には美術館・博物館の案内もあるよ。

『かぐや姫』 舟崎克彦・文 金斗鉉 絵 小学館 2009



「仲秋の名月」は、見ましたか？夜空にひときわ輝くお月様を、思わず見とれてしまう時ってありますよね。平安時代は、今よりずっと人々は夜空を眺めていたに違いありません。「かぐや姫」も、月を見ていた誰かが思いついたのでしょうが、とてもよくできたお話ですよ。世の中がどんなに便利になった1000年後も、きつとかぐや姫は健在のような気がしませんか？

9月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名	著者名1	出版者
039779	141	「恥をかくのが怖い」から解放される本	イルセ・サン	誠文堂新光社
039826	159	「やりたいこと」のを見つけ方	西剛志	PHP 研究所
039960	164	北欧神話物語百科	ドハティ 著	原書房
039961	202	世界を掘りつくせ!	ステュワート	創元社
039933	302	パレスチナ/イスラエルの(いま)を知るための24章	鈴木啓之 編著	明石書店
039898	333	「わかり合えない」からはじめる国際協力	吉岡大祐	旬報社
039916	360	社会問題のつくり方	荻上千キ	翔泳社
039974	366	僕たちはもう帰りたい	さわぐちけいすけ 著	ライツ社
039932	367	テヘランのすてきな女	金井真紀 文と絵	晶文社
039899	367	ハマれないまま、生きてます	栗田隆子	創元社
039962	474	奇妙で不思議な菌類の世界	リン・ボディ 文	創元社
039902	486	バッタを倒すぜアフリカで	前野ウルド浩太郎 著	光文社
039915	519)	地球の冷やし方	藤村靖之	晶文社
039963	613)	奇妙で不思議な土の世界	英国王立園芸協会 監修	創元社
039943	653	奇妙で不思議な樹木の世界	英国王立園芸協会 監修	創元社
039918	726	マンガって何?	京都国際マンガミュージアム,	青幻舎
039847	801	パズルで解く世界の言語	国際言語学オリンピック	研究社
039904	816	文章力の基本	阿部紘久	日本実業出版社
039970	821	漢字なりたち絵本	谷山彩子 作	あすなろ書房

10月のブックカフェのおしらせ

10月1日(火)「自分で建てた家に住む黒田先生に、ズバリ家を建てるまでを伺います！」

黒田先生の人生のバイブルと呼ぶべき1冊は、こちらです!『350万円
で自分の家をつくる』(畠山サトル イラスト・文 エクスナレッジ
2013)なぜ、この本がバイブルになったのかは、当日じっくり聞いてみ
ましょう。

時間 16:00 ~ 17:00

場所 図書館

定員 30名ぐらい

350万円で
自分の家をつくる



皆さんは、今どんな家に住んでいますか?おそらく、黒田先生以外は、誰かが建ててくれた家
に住んでいることと思います。世の中はどんどん分業が進み、便利で快適なものがお金で手に入
る時代です。生活のためにモノを創る人は減るなかで、生活を楽しむためにモノを創る人は増え
ているようにも思えます。それでも、「家」を創るのは、多くの人にとってハードルが高いことな
ので、自分で作るという選択肢をそもそも持たなかつたりします。

いったいどうして、黒田先生は、家を自分で建てようと思ったのでしょうか?子どもの頃はどん
な少年だったんでしょう?いざ家を建てるとなると、どんな困難が、あるいはどんな楽しみがあ
るのか、一緒にお話を聞いてみませんか?参加したい人は、カウンターもしくはクラスの図書委
員までお知らせください!今回は、カフェらしくお茶も出したいです。

「青山美智子さん講演会」のおしらせ

東京・学校図書館スタンプラリー企画で、10月6日(日)、青山美智子さんの講演会が、都立
立川国際で午後2時からあります。中高生向けにお話をさせていただくので、行ってみたいとい
う人がいたら、村上に声をかけてください。また、スタンプラリー開催校の中高生のみ、後日見逃
し配信も可能となっています。お家で見たいという方も、カウンターまでどうぞ、

せっかくなので、青山美智子さんコーナーを作りました。読んでみませんか?

こんなことやってます!



77回生 国語 新書回転寿司



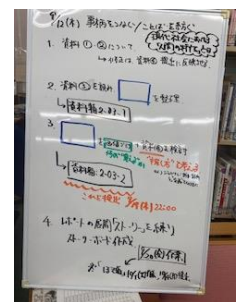
0類から9類までの10冊の親書を5
分で味見読書。初めて新書を読んだ
という人も多かったようですが、面
白いと5分は短いのに、つまらない
と長い!という言葉に納得。

77回生 社会 夏の課題



身近な誰かにインタビューをしたり、
どこかに取材に行って、その地の歴
史を調べる課題の発表が図書館で
ありました。東京新聞の記者木原育子
さんが、1時間目から4時間目まで熱
心に聞いてくださって、最後に講評
まで!贅沢な時間でした。

76回生 国語 事項をつなぐ



AIに関する二
つの文章と、
「温かいスー
プ」という文
章を読んで、
さらにもう一
つ何らかの文

章をつなぎ、あなたが考える現代社
会における「人間の特性」を述べよ…
というなかなか難しい課題に挑戦し
ていた3年生。ネットや図書館の本
から、使える資料を自分なりに探す
体験はいかがでしたか?どんな文章
が書きあがるのでしょうか?!